

## 気流 U-25

読売新聞 令和2年(2020年)5月12日(火)

### 祖父との思い出 詰まったパズル

大学生 大島 優生 20  
(京都府宇治市)  
新型コロナウイルスのせいで、なかなか外に出られない。なので「ナンプレ」を解きながら自宅で毎日を過ごしている。祖父との思い出が詰まった大好きなパズルゲームだ。

小学生のとき、祖父が新聞に載っていたナンプレを解くのをみた。祖父は優しく解き方を教えてくれた。祖父の家を泊まりがけで訪ねるときには、必ず持って行って一緒に解いた。

その祖父は昨年亡くなった。初めての身近な人の死だった。人はこんなに涙が流せるのかと思えるくらい泣いた。そして心はどん底だった。ナンプレの本を見ると祖父の笑顔が思い出され、つらいので机の引き出しの奥にしまいこんだ。

この春、部屋を片付けていたら、ナンプレが出てきた。久しぶりに解いてみると、祖父との思い出がたくさんよみがえった。「頑張れよ！」と応援する声が空から聞こえた気もした。

※無断転載不可